

地域医療連携だより

かまんざ

第33回 病病・病診連携懇話会を開催しました

各診療科からのお知らせ

トリニティを導入しました 【泌尿器科】

次世代型ロボット支援手術システム「CORI」を導入しました 【整形外科】

気胸センターを開設しました 【呼吸器外科・呼吸器内科・救急科】

ロボット支援下直腸がん手術を開始しました 【外科】

お知らせ

アンケート結果

ホームページで地域連携ニュースを掲載しています



当日紹介・予約・診療に関するお問い合わせ

地域医療連携係 TEL **075-212-6186**

平日 8:30~19:30
土曜日 9:00~13:00



小林院長の挨拶



上京東部医師会長小林雅夫先生のご挨拶



新任副院長、部長による自己紹介

第33回 病病・病診連携懇話会を開催しました

地域医療連携・入退院支援室室長 魚嶋 伸彦

2022年7月14日、ホテルオークラ京都にて、第33回病病・病診連携懇話会を開催しました。当日は、近隣のクリニックおよび前方・後方連携病院の先生方あるいは職員の方々128名(会場参加65名、WEB参加63名)の参加をいただきました。

院長の小林 裕と上京東部医師会長 小林 雅夫先生のご挨拶のあと、地域医療連携・入退院支援室室長 魚嶋 伸彦が当院における地域医療連携の現状について発表しました。当院への新規紹介および当院からの逆紹介や転院依頼の現状と、地域医療連携・入退院支援室が1年間取り組んできた5つのこと(①返書の充実 ②各医師会との合同勉強会 ③ホームページの改修 ④「m3.com」を利用した情報発信 ⑤メールニュースの創刊など)を説明しました。

続いて3名の診療部長から診療科の新たな取り組みを紹介させていただきました。

まず腎臓内科部長 塩津 弥生から「腎臓内科における病診・病病連携について」と題して、腎臓内科の診療内容、紹介のタイミングについて紹介しました。

そして整形外科部長 福井 康人から「当院における人工股関節置換術の変遷 ～患者満足度向上を目指し

て～」と題して、動画を駆使して整形外科が取り組むロボット手術を含む先進的な手術法と優れた成績を紹介しました。

最後に泌尿器科部長 邵 仁哲から「前立腺疾患の地域医療連携について ～ロボットの導入～」と題して、前立腺疾患に対するレーザー治療、ダヴィンチ手術や連携強化のためのデスクマットを紹介しました。

その後、新任副院長・部長から自己紹介をさせてもらい、続いて感染制御部部長 盛田 篤広による2022年度第1回感染対策病診・病病連携カンファレンスを実施しました。

盛りだくさんの内容で、ご参加の方々には満足していただけたと感じています。また、第1部と第2部の休憩時間を利用して地域の先生方と対面で言葉を交わし、交流を図ることもできました。来年こそは懇親会も実施し、さらなる交流を図れればと期待しています。

今後、我々の病院は地域医療連携・入退院支援室を通して、一層地域医療機関との連携を強化していきたいと考えています。皆さまの変わらぬご指導ご協力を何とぞよろしくお願い申し上げます。



前立腺がんの診断から治療までのサポートシステム装置 KOELIS社トリニティを導入しました

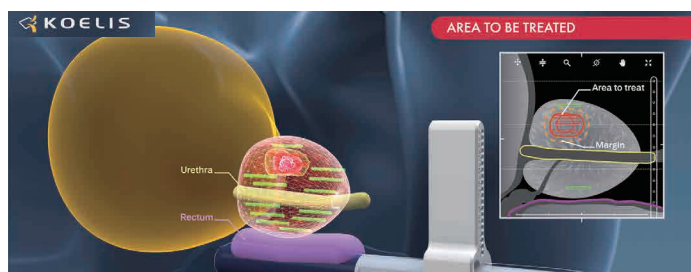
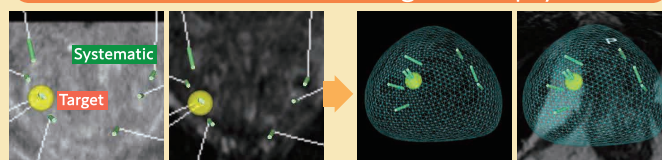


図 MRI/US fusion targeted biopsy



MRI情報は3次元超音波画像と同期して表示される

より精密な生検部位の計画と Targetingを可能にする

正確に病巣を捉えられない前立腺生検の現状

泌尿器科では、今年7月に導入した前立腺がんの診断から治療までをサポートするシステムとして開発された汎用超音波画像診断装置である、KOELIS社トリニティ(以下、トリニティ)を用いた新しい取り組みについてご紹介します。

現在、前立腺がんの診断において、その局在診断に非常に重用されているのがMultiparametric MRIです。Multiparametric MRIは、大事な所見のひとつであるT2強調画像に加えて、拡散強調(DWI)画像、DWIの処理画像であるADC map、Dynamic contrast-enhanced T1画像(DCE)などの要素を用いることにより、多角的に前立腺がんが疑われる部位をターゲットとして描出することが可能になっています。

しかし実際の前立腺生検は、経直腸的前立腺超音波ガイドに行われるため、超音波下でもMRIで指摘されているターゲットが描出できる場合は問題ないのですが、実際は超音波で描出困難な場合が多く見受けられます。せっかくMRIでターゲットが指摘されていても超音波ガイド下では正確な病巣が分からず、頭の中でMRI画像と超音波画像を融合させるCognitive Fusion生検を行わざるを得ず、MRI上でのターゲットを正確に捉えられていないのが、前立腺生検の現状の問題点でありました。

MRIと超音波の融合で正確な病巣を捉えられるトリニティ

左記の問題点を解決するため、当科ではトリニティを導入いたしました。トリニティは事前に撮像されたMRI画像に、3Dの超音波画像をコンピューターでリアルタイムに融合させることにより、MRIと超音波の3D融合画像を作ることができる装置です。この3D融合画像にがんが疑われる場所を映すことで、どこをターゲットとして生検すればよいか鮮明に分かるようになります。しかもトリニティは生検部位の記録を3D画像で正確に残すことが可能なため、ターゲットを外した場合でもやり直すことができるようになりました。

当科では、このターゲット生検に加えて前立腺自体の8~10カ所の決まった場所からの生検(Systematic biopsy)を加えることにより、治療が必要ながんだけを効率的に採取し、それにより今までよりさらに診断率を向上させることを目標としています 図。

このトリニティを駆使して、地域の患者さんや先生方のご期待に応えることができるように努力してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



人工膝関節置換術に最新の 次世代型ロボット 支援手術システム「CORI」を導入しました



■人工膝関節手術件数

2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
112件	99件	158件	106件	120件

ロボット支援人工膝関節置換術で より自然な屈伸動作が可能に

整形外科では、2021年9月からスミス・アンド・ネフュー社 Navio(ナビオ)によるロボット支援人工膝関節置換術を導入しています。これは赤外線カメラで膝の位置を把握し、コンピューター上で骨を掘削する量を設定し、その量に合うようにカッティングバーが自動的に制御するシステムです。これによりインプラントの設置精度が高くなり、長期成績も向上することが期待できます。

また全可動域における軟部組織バランスを骨切り前に定量可能であり、これにより患者さん一人ひとりに最適な軟部組織バランスを得るための骨切り量、インプラント設置位置を術中に評価できるようになり、患者満足度の向上が期待できます。これは通常では切除することが多かった前十字靭帯を温存する

人工膝関節置換術において特に威力を発揮し、活動性が高い患者さんでも自然な屈伸動作が誘導され、より高い安定性とADL動作が期待できます。

最新機種「CORI」で掘削スピード・精度が向上

2022年3月から最新のロボット後継機種「CORI」(コリ)を導入しており、これは従来機種より赤外線カメラの反応速度が上昇し、カッティングバーの掘削スピードが上昇しております。これにより手術時間も従来のロボットより短縮でき、掘削の精度も向上しております。

当科では、今後も患者さんの術後満足度のさらなる向上を目標に、また地域の先生方のご期待に応えられるよう努力してまいりますので、今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



気胸センターを開設しました

2022年10月より、患者さんの病態に応じた担当医が診療を行い、最適かつ質の高い治療を提供することを目的に気胸センターを開設いたしました。

当センターには「呼吸器外科・呼吸器内科・救急科」の3科の

医師が所属しており、院内で密接に連携を図りながら診断・治療を行ってまいります。患者さんの不安を一日でも早く取り除き、早期の社会復帰をめざして日々努力してまいりますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

患者さんの病態に応じた検査と診断

- 1 問診・胸部身体所見
- 2 胸部エックス線・胸部CTを撮影

確定診断と
治療方針を決定

患者さんに最適な治療提供

- 軽 度: 外来通院での経過観察
- 中 等 度: 入院加療での胸腔ドレナージ(虚脱率20%以上)
- 手術療法: 上記で治らない場合および両側症例・再発症例



ロボット支援下直腸がん手術を開始しました



2021年末に手術支援ロボット「ダヴィンチXi」が導入されました。消化器外科分野におけるさまざまな術者要件をクリアし、8月末に最初のロボット支援下直腸がん手術を行い、トラブルもなく手術を終えることができました。鉗子操作が多関節機能のおかげで楽に行えるようになり、カメラもロボットが把持しているためブレがない視野が確保されています。

今後は症例を積み重ねていきたいと考えております。ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

病病・病診連携懇話会・地域医療連携に関する アンケート結果

回答者
病院 69.4%
診療所 30.6%

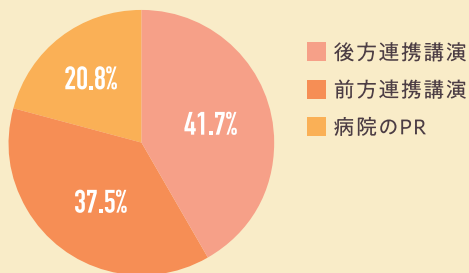


第33回 病病・病診連携懇話会終了後に行ったアンケートの結果をご報告します。

ご協力いただきましてありがとうございました。貴重なご意見・改善すべき事項は、真摯に受け止めまい進してまいります。

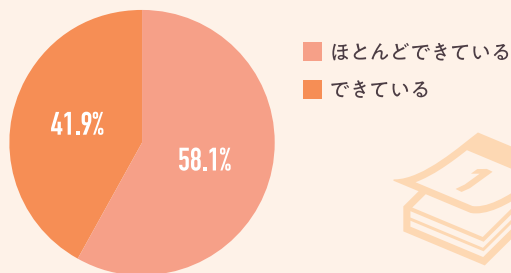
■病病・病診連携懇話会について

今後希望する演題について

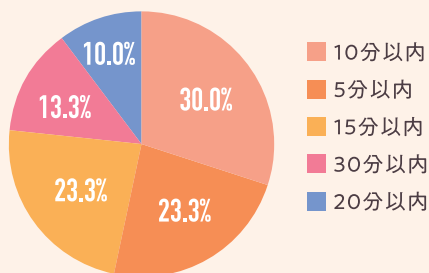


■地域医療連携・入退院支援室の業務について

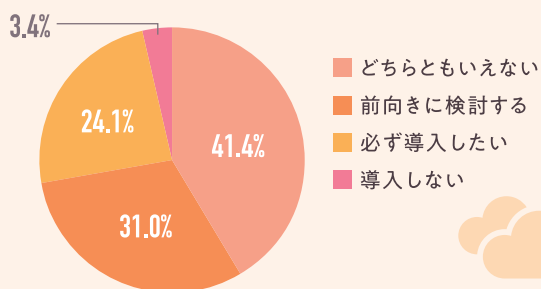
希望する日時に予約取得できているか



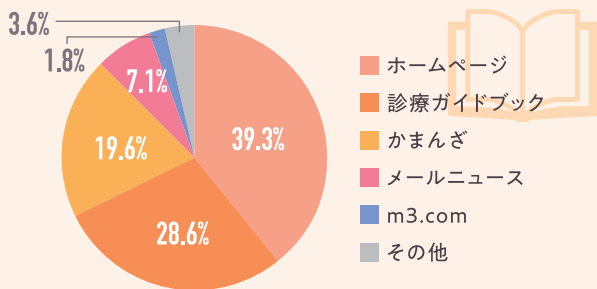
当日緊急受診依頼から受入可否までの適当だと思う時間



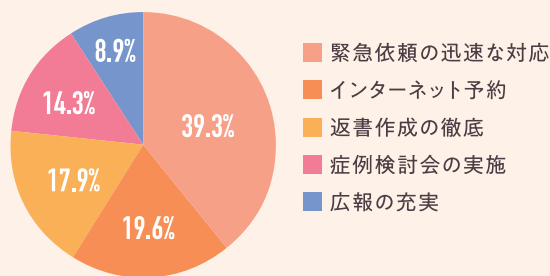
入退院支援クラウドの導入について



よく閲覧している広報について



今後当院に求められる項目について



ホームページで地域連携ニュースを掲載しています

当院ホームページのトップページの地域医療連携サイト内に「地域連携ニュース」として診療科の最新情報を紹介していますので、ぜひご覧ください。



地域連携
ニュースは
こちらから

